

倉本たかひろ

新志会通信



No.

2

平素は倉本たかひろの政治活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成21年7月より、所属をする会派「新志会」の会長に就任致しました。

議会活動上の責任等が増してくると思いますが、従来どおり提案型の議会活動を続けて参りたいと思いますので今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、今回は、名古屋市などでも導入を模索している制度で私、倉本たかひろが数年前から導入を提案している「桑名版 地域委員会」についてご説明をさせていただきます。

ぜひ、ご一読をいただき、ご意見等をいただければ幸いです。

桑名市議会「新志会」会長 桑名市議会議員
倉本たかひろ

〔公式サイト〕<http://www.t-kuramoto.net/>

〔活動日記〕<http://blog.t-kuramoto.net/>



「桑名版 地域委員会」とは 中学校区単位程度の地域に予算とその使い方を 地域の方々に決めてもらう制度です。



なんでそんな面倒なことをしないといけないの？

従来だと自治会などが市に予算をつけてもらうように要求しても、つけてもらえるかどうか分からない。

市の職員がその地域にとってそれぞれの予算がどれほど重要なのか判断しづらい。だから、地域の方にどの事業を優先するか決めてもらおうとするものです。



うちの地域は人口が少ないので、使える予算がほかの地域より少なくなるのでは？

予算配分は公平にしていかなければならない。

人口だけでなく面積なども考慮することによってより人口が少なく、面積の広い地域へも配慮した制度にします。



裏面につづく



市から地域にはどれぐらいの予算がくるの？



本会議場で発言する倉本たかひろ

現在は自治会やボランティア団体等の活動費などで数十万の予算が配分されています。これを見直し事業費として使える規模の数千万円から始めて最終的には地域的な問題・事業については「桑名版 地域委員会」で責任をもって決めてもらいます。



「桑名版 地域委員会」委員は誰がするの？ 自治会の役員さん？

自治会の役員に限りません。各地域で活躍されている団体からの推薦委員と地域の方からの公募委員で構成すべきと考えています。地域での事業の決定権を持つため、任期は1年ないし2年。2期連続で委員にはなれないという制度を考えています。



今は自治会などから市に要望している生活道路のメンテナンスや生活道路を新たにつくってもらうときはどうするの？ 「桑名版 地域委員会」で決めるの？市がやってくれるの？

地域のことは地域で優先順位を決めてもらうことが基本ですので、最終的には生活道路などの管理・新設などは「桑名版 地域委員会」で決めてもらうようにします。市は全市的な事業のみに特化をしていくようにします。そうすることによって地域住民の声が反映しやすい仕組みを構築します。



地域ブランド化 「桑名竹炭米」を企画

桑名の地域問題となっている竹資源の有効活用と農業の活性化。さらには地域活力向上を目指し、企画・実践中。



「桑名竹炭米」を手に笑顔の桑名市農業者の岩谷さん

【沢本繁子】

明日のために

竹炭使い、おいしい米

桑名の岩谷さん
土壤改良の田で栽培
農薬、化学肥料に頼らず

試食会で7割が評価

竹炭で土壌改良し栽培した新米が桑名市友村の農業、岩谷さん(65)の田で、このほど収穫された。竹炭と腐ふんとワラの混合たい肥を使い、農薬や化学肥料に頼らない稲作の結果は、収穫量は従来の栽培法と変わらず、試食会では7割近くの人が「大変おいしい」と評価した。岩谷さんは来年も挑戦したいと安心・安全をいし米作りを手心えをつ

かんたんだ。竹炭を使った稲作は、押し入れの雑草を燃やした荒れた竹林の再生に取り組みしている桑名市議の岩谷さん(65)からだ。日照時間が少ないが提案し、草が丈夫で倒れにくく、化学肥料や農薬を使わずに栽培を終えることができる。

明日のために

桑名の岩谷さん
土壤改良の田で栽培
農薬、化学肥料に頼らず

試食会で7割が評価

培った米は通常の約3倍で売れることなどのメリットを聞き、助められた岩谷さんが今春から実験的に栽培を始めた。岩谷さんは5月に竹炭とたい肥を施した田「大変おいしい」と評価した。同時に「私もやってみたい」と興味を示す人もいたという。岩谷さんは「手間がかかるが、値段は高いでも、それだけ価値がある米ができた」と自信を見せていた。

竹炭米の問い合わせは岩谷さん(0594・31・2455)へ。

毎日新聞 朝刊 2009年10月8日